



## 共生社会の実現に向けて

三重県知事 鈴木英敬



新年あけましておめでとうございます。

「令和」最初のお正月。皆様には、心新たに清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、「平成」から「令和」へと元号が改められ、歴史的な節目の年となりました。「令和」は、伝統を重んじつつ、新しいことにもチャレンジし、新時代を創っていくという決意が感じられる元号です。これからの令和の時代に、三重県らしい、多様で包容力ある持続可能な社会の実現に向けて、「新しい豊かさ」を享受できる三重づくりを進めてまいります。

さて県では、平成30年3月に改訂した「みえ障害者共生社会づくりプラン」に基づき、権利擁護をはじめとする各種障害者施策を推進しているところですが、「障害の有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい三重県づくり条例」が昨年4月に全面施行されました。条例では、すべての県民

が、障がいのある方との対話を通じて、社会的障壁を取り除くことにより差別解消を進めていくことが求められています。県としましても、障がいの有無によって分け隔てられることなく、互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向けて、より一層の取組を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さらに、障がい者スポーツの振興と、障がい者の自立や社会参加を着実に推進していくため、障がい者スポーツの普及を図っているところです。本年8月には東京パラリンピックが開催されるほか、来年10月には県内で全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」が開催されます。県では、「三重とこわか大会」に向けて、関係団体と協力して準備を進めておりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年の皆様のご多幸とご活躍を祈念し、新年のあいさつといたします。

## 新年のごあいさつ

公益社団法人 三重県障害者団体連合会 会長 世古佳清



新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ると、平成の時代が終わり、新年号「令和」の時代の幕開けとなった一年でした。

特筆すべき事は、日本ラグビーがワールドカップで初の決勝トーナメントに進み日本中がラグビー一色に盛り上がりました。また、大坂なおみが全豪オープンで初制覇し、世界ランク1位に輝くとともに、渋谷日向子が全英女子オープンに日本人として42年ぶりの優勝を遂げました。

悲しいニュースとしては、台風など自然災害も日本各地に被害をもたらしました。亡くされた方々にお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に一日も早い復旧・復興がされますことを心からお祈り申し上げます。

また、社会の風潮としては、煽り運転や車の暴走事故、京都アニメーション放火殺人事件など悲惨な事故

も多数発生しました。

さて、私たちを取り巻く環境としては、障がいに対する社会の意識が、顕著に変わってきていると思います。

障がいのある私たち自身が、障がいに対する正しい理解と、差別や偏見を生まない意識を、地域社会のなかに育てていかなければなりません。

今年は、障害者権利条約の国別審査や東京オリンピック・パラリンピックが開催され、来年には三重とこわか国体・とこわか大会が開催されることから、障がいに対する社会の意識や関心をさらに高めるためにも、障がいのある私たち自身が、障害理解の発信者となり、地域社会の中でしっかりと取り組み、推し進めていくことが大切です。

私たちは、障がい者福祉向上のため、全国の仲間と共に取り組みますので、皆様方におかれまして一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に皆様のご健勝を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## 三重県知的障害者育成会

### 知的障害者への選挙権行使への支援策を!!

育成会として、各種法令における欠格条項による不利益が解消されていく中で知的障害者への選挙権行使への全国統一のマニュアルがないことを問題だと思っています。

公職選挙法に関わる課題なのですが、中央に任せとけばいいという問題ではないと考えて、声を上げています。

例えば、視覚障害の方には代筆ということが当たり前になっていますが、知的障害の方々でもお願いできると投票所に掲示されていないために本来は代筆が利用できる方への理解が進んでいません。県外での出来事ですが、投票所で「この字が書けません…」と言った人へ適正な対応をしなかったところがあって、仕方なく投票をあきらめて帰られたことが起きています。

選挙への呼びかけ文書にひとこと書いていただければ、投票をあきらめることがなくなるのではないかと思います。

また、字だけを見てもどんな人か理解できない知的障害の方もいますので、投票所で顔写真入りの立候補者の掲示があれば、指差しなどの意思表示が可能になります。

まず、これらのことをしていただければ選挙権行使ができると思っています。

通称、障害者差別解消法では、合理的配慮が掲げられていますが、合理的配慮は、『障害者差別解消法』が想定される部分のみでの対処で済ませられるものではなく、上級法規にも内容を照らし合わせて対応策を立てていただきたいものです。

しかも、選挙権は憲法で保障された三大権利の一つです。行政としても、権利行使への支援の定義は合理的配慮をもってあたらなければならないと思うのですが…。

下記に今年度の議員さんとの懇談会で要望したことと回答を紹介させていただきます。

### 【要望】1. 知的障害者の選挙行動での支援策の確定を(再要望)

成年後見制度の利用による選挙権剥奪は解消されましたが、次なる課題である選挙権行使の権利保障の整備へご尽力をお願いいたします。

障害者差別解消法で合理的配慮が認められました。

知的障害者の投票行動を支援するための支援策を整備してください。

例えば、選挙公報の工夫、投票時における代理投票の告知の表示、候補者の顔写真入り掲示等々の工夫をする余地が残っています。

是非とも、改善に向けたご助力を賜りますよう切にお願いいたします。

### 【回答】

投票所での氏名掲示に候補者の写真を掲示することについては、公職選挙法の改正が必要なため、要望内容について、国に伝達いたします。

また、市町に対しても、知的障害者がより円滑に投票が行えるよう、接遇について先進事例を活用して助言してまいります。

理事長 高鶴かほる

事務局 ☎ 059-225-3930 F AX 059-225-3935

E-mail:oyanokai@eos.ocn.ne.jp

HP <http://www.mie-ikuseikai.sakura.ne.jp>

## 三重県精神保健福祉会

### 第45回 三家連精神保健福祉大会(研修会)

「アパートに入居しようとしても断られる」「グループホームを建てると言ったら、地元の方々がなかなかOKを出さない…」

今でも精神障がい者・メンバーのまわりでは日常茶飯事となっています。

まだまだ「美し国・みえ」とは言えません。

私たち三重県の精神障がい者家族会は、昭和43年から障がいに対する誤解・偏見をなくすために研修会やイベント(三家連大会)を開催してまいりました。

この数十年の経験の中で、正しい理解を広めるにはどうしたらいいのか、精神科医の先生方、専門家の皆様からのお話も伺いました。

私たちはその中で精神障がいの当事者(メンバー)と「交流する」ことが一番効果的な正しい理解の普及・促進ではないかと考えております。

誤解・偏見のために医療機関にかかることが遅れる場合も結構多いのです。

精神疾患は早期に治療を受ければ一般の病気と同じように必ず回復します。

ともすれば精神障がい者は「怖い存在」、精神疾患・精神障がいは「怖い病気」というイメージがあるかと思いますが「交流」を通じて払拭して頂きたいと思います。

令和2年6月25日(木)に「三家連精神保健福祉大会(研修会)」を桑名のNTNシティホールで開

催します。

県内のメンバーや家族が沢山集まり、「演劇」や「体験発表」、専門家の「講演」を計画していますので是非ご来場ください。

必ずや「親切で・やさしく・思いやり」のある精神障がい者を五感で感じて頂けると確信しています。

また、地域の精神障がい者の福祉施設は、いつでも皆さんの来訪（見学等）をお待ちしております。

精神のメンバーは優しく、親切で、思いやりのある人ばかりです。

ぜひ、体感してください。お待ちしております。

私たち家族会は、誤解・偏見を解消していくための啓発活動を通じて、近い将来、精神障がい者にとっても「美し国・みえ」と言えるようにしたいと思っています。

NPO法人 三重県精神保健福祉会（さんかれん）

理事長 山本 武之

事務局 ☎・FAX 059-271-5808

E-mail:sankaren@mint.or.jp



## 三重県聴覚障害者協会

皆様には「平成」から「令和」の年号が変わって初めての新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

当協会が行なった活動事業（4月～翌年1月）は、5月19日（日）「第71回三重県聴覚障害者福祉大会（津市）」、7月7日（日）「三重県手話通訳問題研究討論集会（桑名市）」、8月6日（火）聴覚障害児向け「聴覚障害児サマースクール」、11月17日（日）文化の秋「三重ろう者文化祭（津市）」、11月24～25日（日～月）「旅行企画（香川・小豆島）」、関連団体との合同企画も7月6日（土）三重県手話通訳問題研究会と三重県手話サークル連絡協議会合同「三重幹部ワークショップ」「令和交流会」、7月27日（土）県サ連合同「納涼交流会」、7月28日（日）県サ連合同「スポーツレクリエーション」も予定通り順調に実施できました。当協会の会員数は2018年度の309名より3名増の312名、これはうれしいニュースであります。他に①災害時聴覚障害者支援みえ本部（三重通研と県サ連との共催）が「聴覚障害者版クロスロード」ゲームを完成、②三重とこわか大会の情報支援ボランティアリーダー養成講座を実施、③12月1日（日）伊勢市で「全国手話言語市区長会手話劇祭」と三重県聴覚障害者支援センター主催「センターまつり」の併催が2019年の功績でもあります。

いろいろな場面でコミュニケーションボードや手話・筆談マークの設置、電話リレーサービスや行政、お店などの遠隔手話サービスの設置、Net110・119の開設、手話奉仕員養成講座の増加など、聞こえる人と同じように安心して生活できる環境に変わり始めています。「聞こえる人間聞こえない人だれもが、いつでもどこでもあたりまえに、さまざまな方法でお互い意思を伝えあうことができる、みんなが安心して暮らすことができる社会の実現」という私たちの想いを叶えるために、会員からも関係団体からも信頼されて、お互いに楽しく運営していけるよう今年も理事たちと職員たちが一丸となり頑張っていきます。

現在の県理事体制は2年の任務が終了し、新年度から新しい県理事たちが就任しますので、会員たちの要請、地域協会の皆様の要望に応えられるよう努力してまいりたいと存じます。将来はどんな時代になるかは見当もつきませんが、これからは我々の力で歴史を創っていきたい。団結力のある各団体の発展を祈り、本年も引き続きよろしく願いいたします。

事務局 ☎ 059-229-8540 FAX 059-223-4330

E-mail:deaf.mie@viola.ocn.ne.jp

HP <http://deafmie.cocolog-nifty.com/blog/>

## 三重県視覚障害者協会

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、視覚障害者が日常生活を営んでいくためには、様々な社会的バリアーの解消が必要です。その中でも最も優先されるべきものは、安全・安心な移動環境の整備です。

たとえば、同行援護制度については、視覚障害者の外出のための有益な制度ですが、当事者が必要とする日時に利用できないことが多くあり、従事者の量的整備が必要です。

外出時の安全を確保するために、音響信号機、誘導ブロック、エスコートゾーンなどを計画的に整備することも強く求められています。

さらには、近年大きく報道されているホーム上の安全対策を強化されることも必要です。

視覚障害者の安全・安心な移動において、県民の皆さんにとって、視覚障害者への接し方、サポートの仕方などがわからないことがあれば、三重県視覚障害者協会、三重県視覚障害者支援センターにお気軽にお問い合わせください。

ここから、改めまして三重県視覚障害者支援セン

ターのご紹介をさせていただきます。県センターは、もちろん県の施設です。三重県視覚障害者協会が、県センターの指定管理者となっています。

県センターでは、県内の視覚障害者の方々が、より円滑に日常生活が営まれるよう、様々なサービスを提供しています。こうしたサービスを提供するために、県センターには大きく二つの機能があります。

ひとつは、図書館等情報サービス機能です。県センター内の図書館及び全国的なサピエ図書館から貸し出されている点字図書や音訳図書は、県内視覚障害者の方々にとって、いわば命の情報源です。さらには、毎月上旬に、三重県視覚障害者生活情報誌を発行しており、様々な記事を豊富に用意しております。約1,000人もの県内の視覚障害者の方々に、点字、デイジー、メールなどで毎月送付しております。いちど、三重県視覚障害者支援センターのホームページをご覧ください。「はなしょうぶ」という名前の三重県視覚障害者生活情報誌を、ぜひ読んでいただきたいと存じます。

そして、もうひとつの県センターの機能は、リハビリサービス機能です。白杖を使った歩行訓練や音訳の情報支援機器の操作訓練など様々な生活訓練を、年間延べ約500人もの視覚障害者の方々に受けていただいております。最近では、多くの中途視覚障害者の方々に、こうした生活訓練を受けていただいている傾向が強くなっています。県センターの役割を果たすうえで、大きな機能発揮だと感じています。

最後に、引き続き、協会並びに県センターをご支援いただきますようお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。



会長 児玉千春  
三重県視覚障害者支援センター  
(津市桜橋2丁目131番地)

☎ 059-228-3463 FAX 059-228-8425

Email mieten@zc.ztv.ne.jp

HP <http://www.zc.ztv.ne.jp/mieten/p/>

社会福祉法人 三重県視覚障害者協会

(津市桜橋2丁目130番地)

☎・FAX・Emailは、県センター共用

## 三重喉友会

当会は昭和30年に創立され今年で65年目になり、現在会員数は90名です。

種々の疾患のため喉頭や食道の摘出手術を受け、発声機能を失った方々のための患者会です。

その方々が、発声教室で訓練をして日常会話が出

来るようになり、社会や職場に早く復帰されることが目的です。

このほか、会員同志の健康相談や親睦の場としても活発な活動をしています。

このような患者会は全国にあって、NPO法人日本喉摘者団体連合会に加盟しており、各団体は互いに情報を交換しながら協力しています。

### ◆発声教室

毎月県内の病院で開催しています。

#### ・北勢地区

市立四日市病院1階 11会議室  
第一水曜日 13時～15時

#### ・中勢地区

三重大学附属病院南館12階 三医会ホール  
第三木曜日 10時～12時

#### ・南勢地区

伊勢赤十字病院1階 山田ホール  
第二木曜日 10時～12時

#### ・東紀州地区(偶数月)

尾鷲総合病院1階 母親教室  
第四木曜日 10時30分～12時

・会員の方は自由にお近くの教室に参加して下さい。

### ◆研修会

・発声指導員養成のための研修会が、毎年10月に3日間行われ一般会員の方も参加できます。

・県外から発声指導のために講師を招き、集中的な訓練により成果が上がる研修会も行っています。

### ◆総会(発声教室、研修会)

毎年春に三重大学附属病院で開催されます。

発声訓練の成果として「発声コンクール」を行います。

### ◆一泊研修旅行

先輩からの手術後の体験談や、会員の悩み等を話し合ったりして親睦を深めています。

会員による発声コンクール(カラオケ大会)を行います。

### ◆出前授業

三重県教育委員会からの要請で県内の小・中・高等学校の生徒対象に「がん教育」として三重県内の病院の教授、医師と共にがん体験者としての講演をしています。

### ◆三重県がん相談支援

三重県がん相談支援事業の一環として、三重喉友会もがん患者団体としてサポーター協力しています。

事務局 ☎・FAX 059-261-5257 (塚本明雄)

E-mail:aki0350@zb.ztv.ne.jp

## 日本オストミー協会三重県支部

新年おめでとうございます。

日頃はオストメイトの福祉向上にご支援・ご協力を戴き有難うございます。

本年度に計画した行事のうち、令和元年10月12日開催予定の「秋の研修会」は、台風が予想されて中止せざるを得ませんでした。令和元年度の最後の行事として、「新入会員研修会」を2月22日（土）に下記のとおり開催いたします。WOC認定看護師さんにも出席いただく予定です。新入会員でなくともストーマケアに不安のある方は、出席してご相談ください。

### 【令和2年度の予定】

- ・ 2月22日（土）「新入会員研修会」（令和元年度行事）  
会 場：アスト津 13時～
- ・ 5月 「支部総会・春の研修会」  
会 場：アスト津 13時～
- ・ 7月 「一泊研修会」  
宿泊地：鳥羽市内ホテル
- ・ 10月 「秋の研修会」  
会 場：アスト津 13時～
- ・ 11月 「一泊研修会」  
宿泊地：鳥羽市内ホテル
- ・ 令和3年3月 「新入会員研修会」  
会 場：アスト津 13時～



「春と秋の研修会」には、WOC認定看護師や専門医をお招きし、講話をいただき、ストーマケアをはじめとする質疑応答を行います。

「一泊研修会」は、「温浴施設での入浴」を通じて自信を持って社会に適応していける等、QOL（生活の質）向上のために、参加者それぞれの経験や知見をもとに話し合いを行っています。

「新入会員研修・懇談会」は、ストーマケアや日常生活での注意点等を中心として、WOC認定看護師や経験豊かなオストメイトとの質疑応答でできるだけ早く社会適応が出来ることを目指しています。

オストメイトは、ご家族のご協力があって初めて快適なストーマ生活が過ごせます。研修会等の行事にご家族でのご参加を歓迎いたします。

- ☆注 (1)ストーマ …腹部に造設した人工肛門・膀胱のことを言います。  
(2)オストメイト…ストーマを造設した人のことを言います。  
(3)WOC…皮膚・排泄ケア認定看護師のこと。(ウォックナース) 創傷 (Wound)・ス



トーマ (Ostomy)・失禁 (Continence) にかかわる専門知識・技術を有すると認定された看護師。

支部長 ☎ 059-346-2589 (溝川紳一)  
事務局 ☎ 059-226-5201 (在間敏明)

## 三重心臓を守る会

三重心臓を守る会（全国心臓病の子どもを守る会三重県支部）には、お子さんや家族が、心臓病とわかって心配な時や、迷う時に、一緒に悩んだり、喜んだりできる同じ思いを経験している仲間がいます。

心臓病先天性心臓を守る会の行事は、5月～6月専門家による講演会&相談会、7月～8月療育キャンプ&交流会、9月救急講習会&相談会、11月秋のバーベキュー交流会&相談会、12月クリスマス会&相談会などの楽しい行事があります。また、毎月発行している会報「心臓をまもる（三重こころChan）」は、会員間の情報の共有と交換をしています。

2020年も、各行事を開催しつつ、会報を発行し、ホッと出来る情報と場所を提供出来ればと思います。

心臓病のお子さんをお持ちの方、一人で悩まないで、一度お電話下さい。

事務局 ☎ 059-255-4661  
FAX 059-256-0802 (西村信子)

## 三重県肢体不自由児者父母の会連合会

あけましておめでとうございます。また、日頃から肢体不自由児者の福祉向上にご支援いただいている関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。今年もよろしくお願い致します。

私たちは、『住み慣れた地域で、共生社会の実現！～安心・安全に誰もが豊かに生きる社会をめざして～』をテーマに全国肢体不自由児者父母の会連合会の傘下で活動しています。以下に主な目標を紹介します。

- ・障がいのある人の人権が守られ、地域社会の中で安心安全に暮らせる共生社会の実現を図る
- ・乳幼児期の早期療育支援、医療的ケア児等の医療、特別支援教育の充実を推進する
- ・障がいのある人が安全に地域で暮らせるようにグループホームとショートステイ等の障害福祉サービスの充実を図る
- ・本人の意思決定を尊重し、相談支援体制や地域自立支援協議会の充実を図る
- ・災害時には誰も取り残されない、取り残さない避

難体制の構築と合理的配慮に基づく避難所の運営、福祉避難所の設置、仮設住宅の充実を図る  
・障害基礎年金の増額並びに自立できる生活環境の充実を図る

上記活動目標について、先進県に一步でも近づけるよう保護者一人一人が自覚をもって、さらなる活動を展開していきます。

関係各位様のご支援を宜しくお願い致します。

事務局 四日市市南垂坂町810-47 (鈴木)

☎ 090-333-0005

## 三重県重症心身障害児(者)を守る会

明けましておめでとうございます。

私達、三重県重症心身障害児(者)を守る会のこの一年の活動報告を致します。

新しい年号になり、心も新たに守る会の課題に地道に取り組んできました。

課題であります会員の高齢化そして減少に少しでも歯止めをかけるべく微力ながら各地で頑張っております。

6月は、8日から9日にかけて、守る会の全国大会が東京都品川区高輪プリンスホテルにて厚労大臣、文科大臣を迎え第55回大会がありました。

7月は、8日に他団体の在宅の会総会に出席して意見交換とハーバリウム講習を受けました。

又、18日は三重県歯科医師会館にてみえる歯ネットの講演に出席してきました。

8月は、25日に守る会の母親部会主催で三重病院にて障がい者に対するの虐待事件をテーマに三重短期大学の脇田先生に講演頂き、その後意見交換を行いました。

10月は、6日に済生会明和病院にて医療講演会を開催致しました。講師の先生は重症児喘息等アレルギーの専門である三重病院藤澤院長先生を、又、長年障害者の歯科治療をされています松阪で歯科クリニックを開業されています鈴木院長先生に講演頂きました。

11月は、10日に守る会東海北陸ブロック大会が愛知県名古屋市ウインクあいちにて河村名古屋市長、大村愛知県知事を迎え開催しました。

今後の予定ですが、来年2月23日熊野市にて一泊研修会を開催します。目的は、在宅でいらっしゃるお子さん親御さんの現状を知り、疑問、意見、要望をお聞きして自治体、又国に対して働きかけが出来ないか、守る会として何か出来ないかなどお聞き

する予定です。

この一年間の活動を通して感じる事は、親子の高齢化があります。後見人制度が随分普及し高齢により第三者後見人が随分増えてきました。その中で孤立し親子共々悲惨なケースになった事例も散見される様になってきました。確かに福祉が充実されている現在でも、こう言った事例があります。私達守る会の三原則の一つである、“弱い人をもれなくもる”を実践するにあたって地道に活動する予定です。

今後とも私達守る会の活動をご支援願ひまして、報告といたします。



会長 山本静雄

☎・FAX 0596-23-0216

## 三重県知的障害者福祉協会

明けましておめでとうございます。

当協会は、知的障害のある方の自立と社会・経済活動への参加を促進するため、知的障害のある方の支援及び福祉の増進を図ることを目的に、昭和9年に知的障害者支援の研究団体として設立された社会福祉法人立を主とした障害福祉サービスの事業所団体です。

昨今、障害のある人たちが地域住民の一人として、また、地域社会の一員として安心して暮らし続けられるようになることを目指す「地域共生社会」が大きく取り上げられるようになりました。障害のある人たちが、それぞれの人生を納得しながら歩んでいただくためには、ライフステージをトータルに捉え、その道が途切れぬよう繋がり、連携し、継続して支援していくことが求められます。

障害福祉を取り巻く諸制度に様々な改正がなされる前年に当たる令和2年において、当協会は、「障害者福祉は社会保障の原点」という視点で、各々の制度が、中長期的な視点で捉えることのできる整合性のとれた解りやすいものとなるよう、引き続き関係団体様との連携を強めながら、問題の解消に向けて全力を尽くしていきたいと思ひます。

本年もよろしくお願ひします。

会長 近藤忠彦

事務局 ☎ 059-268-1115 (まもり苑・本弘)

## 三重県脊髄損傷者協会

東京オリンピック・パラリンピックの開催が近づいてきました。日本中が大きな関心を持っていると思ひ

ます。我々障害者もパラリンピックを機会に障害者スポーツの発展を大いに期待しています。パラリンピックに向けて障害者スポーツ協会・各競技団体が活発に動き、経済的には国や都道府県、企業が支援をしていただく状況になりました。そして多くの障害者が挑戦しています。

三重県では2021年に国民体育大会・全国障害者スポーツ大会が開催され、より一層スポーツに取り組む状況となっています。

パラリンピックを契機にバリアフリーを推進していくために国を上げて行動をしています。東京だけではなく日本中のバリアフリーが推進されるように我々も協力をしていきます。

脊髄損傷者の多くは車いすを使用して日常生活を送っています。社会での障害は移動障害と言われ特に階段・通路・公共交通機関のバリアフリー化に注力してきました。

同じ障害を持つ者同士によるピアカウンセリングの活動をしています。

事務局 ☎ 059-386-9733 (松田靖利)

## 三重県身体障害者総合福祉センター

三重県身体障害者総合福祉センターは県の指定管理により「障害福祉サービス事業所」と「身体障害者福祉センターA型」を運営しています。

障害福祉サービス事業所としては、脳血管障がいや脊髄損傷などで肢体不自由や高次脳機能障がいのある方に対して自立に向けた入所(40名)・通所(20名)による支援を実施し、これまで多くの方々が単身生活や就労などの地域生活に移行されています。具体的には、障害者総合支援法による各種リハビリテーションを行う施設として、①自立訓練(機能訓練)②自立訓練(生活訓練)③就労移行支援④生活介護⑤施設入所支援⑥短期入所の6つの事業を展開しています。また、相談窓口として高次脳機能障がいの方への相談支援を行っています。

身体障害者福祉センターA型としては、各種相談の実施、介護保険・医療保険によるリハビリテーションの実施、障がい者スポーツの推進などを行っています。この内、障がい者スポーツについては、三重県障がい者スポーツ大会【陸上競技・フライングディスク・ボウリング・卓球・バレーボール(精神障がいの部)、ポッチャ】の実施、全国障害者スポーツ大会への選手団派遣などを行っています。また、2021年開催の全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大

会」に向けて選手育成、団体競技の強化、指導員・競技役員等の養成も行っています。団体競技の車いすバスケットボール、グランドソフトボール、聴覚障がい者バレーボール男女、知的障がい者ソフトボール、知的障がい者フットベースボール、知的障がい者バスケットボール男女、知的障がい者バレーボール男女、精神障がい者バレーボールの選手を募集しています。未経験の方も歓迎していますので、スポーツを始めたい方、仲間作りをしたい方は、ぜひお問い合わせください。

今年も、当センターの取り組みについてご支援、ご協力をたまわりますよう、よろしく願いいたします。

事務局：三重県身体障害者総合福祉センター

☎ 059-231-0155 FAX 059-231-0356

HP：<http://www.mie-reha.jp/>

## 三重難病連

三重難病連は現在21(2団体活動休止)の当事者団体で構成されており、三重県難病相談支援センター事業を県から受託して運営しています。

○疾患別相談(毎週火・木曜10時～16時)

三重難病連に加盟している団体の相談員が療養相談や生活相談をお受けします。同じ病気の方々の悩みや、様々な問題について同じ立場で一緒に考え、問題解決のお手伝いをします。疾患によって担当日が決まっておりますので、詳しくは下記の三重県難病相談支援センターへお電話でお問合せ、またはホームページでご確認下さい。

○就労相談

三重県難病相談支援センターでは、就労支援の担当がお仕事に関するご相談を受けています。また、毎月第4水曜10時～16時には、ハローワークの難病患者就職サポーターによる相談・支援も実施しています。(☎ 059-223-5045)

○小児慢性特定疾病に関するご相談

お子様のご病気に関しての困りごと・お悩みについて、担当の相談員がご相談をお受けします。

(☎ 059-223-5046)

【三重県難病相談支援センター】☎ 059-223-5035

<http://www.mie-nanbyo.server-shared.com/>

## 三重県立特別支援学校長会

皆様におかれましては、令和2年の新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。旧

年中は、特別支援教育の推進に何かとご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

さて、平成29年、30年に「社会に開かれた教育課程」「主体的・対話的で深い学び」の実現等を謳った新学習指導要領が告示されました。新しい教育内容の学習が、特別支援学校でも小学部は令和2年度、中学部は令和3年度、高等部は令和4年度の入学生から年次進行で実施されます。また、特別支援学校の教員は、資質能力向上のため令和2年度までに特別支援学校教諭等免許状を100%保有することを目指しています。

また、2020年のオリパラに向け「Special プロジェクト2020」文部科学省推進本部が設置されるなど障がい者スポーツに対する注目度も増しています。

三重県では、平成27年3月に、三重県教育改革推進会議において審議されてきた、三重県特別支援教育推進基本計画が策定され、インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育を推進するために取組を進めてきたところです。また、平成28年2月に策定された「三重県教育ビジョン」においては、自立と社会参画をめざした特別支援教育を推進するため、適切な指導・支援の充実、教員の専門性の向上、特別支援学校の整備について、平成31年度までの具体的な取り組みが示されていました。本年度は改訂の時期で、特別支援教育推進会議において、就学前から高等部卒業までの切れ目のない支援体制の充実を柱にした新しい三重県特別支援教育推進基本計画が令和2年3月に策定されます。

また、2021年には、三重県において、とこわか国体、とこわか大会が開催され、それに向けての準備が進められています。

さらに、平成29年4月には、三重県手話言語条例が施行され、手話が言語であるとの認識に基づき、手話等に関する基本理念を定め、県の責務並びに県民及び事業者の役割が明らかにされました。

三重県立特別支援学校長会は、このような国や県の動向を踏まえ、特別支援教育の理念に立脚して、共生社会の実現に向けた特別支援教育の推進、特別支援学校の教育の充実、防災対策及び防災教育の推進、特別支援学校のセンター的機能の充実等について意欲的に取り組み、課題の解決に努力しております。

今後とも皆様方のご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

事務局：三重県立特別支援学校西日野にじ学園  
☎ 059-322-2558 (井川佳久)

## 独立行政法人高齢・障害・求職者 雇用支援機構三重支部

### 三重障害者職業センター

- ①一般企業で働くことを希望する障害のある方に対して、ハローワークや関係機関と連携し、就職への準備を整えるための相談・職業準備支援、就職した職場に適應するためのジョブコーチ支援、休職している方の職場復帰のための支援などの各種支援を行っています。
- ②事業主の方に対して、障害者雇用の進め方や雇用管理に関する相談・支援を行っています。
- ③障害のある方の就労支援を行っている関係機関の方に対して、就労支援に関する助言や研修などを行っています。

【お問合せ】津市島崎町327-1 (ハローワーク津3階)

☎ 059-224-4726 FAX 059-224-4707

### 高齢・障害者業務課

- ①事業主の方に対しては、障害者雇用納付金制度に基づく納付金申告申請書・調整金支給申請書等の受付や相談を行っています。
  - ②障害者雇用への理解を広げるため三重県・三重労働局の共催のもと「三重県障害者技能競技大会 (アビリンピックみえ)」を開催しています。
- ※令和元年11月30日 (土) ポリテクセンター三重 (四日市市西日野町4691) にて開催。多くの方にご参加・ご来場賜り、感謝申し上げます。2020年の日時等決定しましたら、ホームページ等でお知らせいたします。
- ③障害者雇用への理解を広げるため、機構では「障害者雇用支援月間ポスター原画 (絵画・写真) コンテスト」を実施しています。

※令和2年2月末にホームページに募集要項掲載予定

【お問合せ】津市島崎町327-1 (ハローワーク津2階)

☎ 059-213-9255 FAX 059-213-9270



### ご協力をお願い

日頃は温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当事業所は、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会協賛のもと、全国的組織で福祉事業を実施しています。皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

日本身体障害者団体連合会事業所  
(お問い合わせ) 電話 (フリーダイヤル)  
0120-263-323



# 令和元年度三重県障がい者芸術文化祭 受賞者一覧

部門	賞	氏名	作品名	所属等又は市町名
絵画	三重県知事賞	萩野 佑斗	日本昔ばなし	特定非営利活動法人エブリー
	三重県議会議長賞	安井 海人	静か	津市立一志東小学校
	亀山市長賞	岩本 愛	在る人	工房ゆう
	実行委員会賞	岩岡 響	ライオン	特別支援学校 聖母の家学園
	奨励賞	今田 理絵	ともだち	障害者生活介護事業所 サニープレイス
写真	知事賞	森 和夫	笑顔で研修	志摩市障がい者福祉会
	三重県議会議長賞	鳥居 辰哉	花しぐれ	東員町
	亀山市長賞	杉本 佳昭	わたしのいちばん	社会福祉法人伊勢亀鈴会南勢就労支援センター
	実行委員会賞	川間 紀子	生まれたばかりの赤ちゃんの子猫	NPO法人コスモス
	奨励賞	小林 寛久	決めポーズ	桑名市
書道	三重県知事賞	小村 直輝	夏空花火	あるく 鈴鹿白子
	三重県議会議長賞	川村よし子	36歌仙22番	松阪市身体障害者福祉協会
	亀山市長賞	豊濱 駿輔	冬の蕾	特別支援学校 伊賀つばさ学園 高等部
	実行委員会賞	黒木 光浩	桔梗	身体障害者支援施設はなの里
	奨励賞	森谷 睦也	私	社会福祉法人伊勢亀鈴会八野生活介護センター
陶芸	三重県知事賞	鈴木 克彦	孔雀	きらめき工房いが
	三重県議会議長賞	世古 卓也	ペガサス	社会福祉法人ベテスタこいしろの里
	亀山市長賞	山本 明	ボク	障害者支援施設 津長谷山学園
	実行委員会賞	菊山 清己	ぞう	きらめき工房いが
	奨励賞	宮崎加奈子	夏茶	社会福祉法人伊勢亀鈴会八野生活介護センター
手芸	三重県知事賞	前田 佳子	佳子さんのスウェーデン刺繍	社会福祉法人聖母の家
	三重県議会議長賞	山本 悦子	麻袋と刺繍“えっこさんのワンダーランド”	社会福祉法人聖母の家
	亀山市長賞	鈴木 静恵	ピンクジュリエッタ	三重県いなば園すぎのき寮
	実行委員会賞	橋本たづ子	なでしこ	三重県いなば園すぎのき寮
	奨励賞	南条 尚子	尚子	指定障害者支援施設 聖愛園
工芸	三重県知事賞	桑木 雪美	スマイルコーンの四季	就労継続支援B型事業所スマイルコーン
	三重県議会議長賞	藤本 治市	藤	鈴鹿市
	亀山市長賞	Dr. M	はきたいけれど、でもなあ	まつさかチャレンジドプレイス希望の園
	実行委員会賞	中嶋小百合	無題	津市
	奨励賞	水崎美智子	私の作品	三重県いなば園かしのき寮
貼り絵・CG	三重県知事賞	服部 文香	カラフルシール	社会福祉法人 維雅幸育会上野ひまわり作業所
	三重県議会議長賞	北住 人和	不思議な生物	放課後等デイサービス つくし うのもり
	亀山市長賞	山崎 智明	うろこカー	社会福祉法人名張育成会ワークプレイス葉アトリエ彩
	実行委員会賞	阪本 亮	秋 そして…	社会福祉法人伊勢亀鈴会南勢就労支援センター
	奨励賞	片山 真之	キューブ	障害者生活介護事業所 サニープレイス
俳句	三重県知事賞	下村 好子	(浴衣)座敷窓 大きく開けて 浴衣吊る	大台町障害者福祉会
	三重県議会議長賞	瀬川 令子	目を焼く 煙に追はれ 赤とんぼ	大台町障害者福祉会
	亀山市長賞	落合 恵美	蛍火の碧き光はこの胸に	社会福祉法人 鈴鹿聖十字会 菰野聖十字の家
サブタイトル賞		上林 由季	～輝け みんなの令和 つなげよう みんなの絆～	亀山市

# 令和元年度 三重県障がい者芸術文化祭

## ～ 輝け みんなの令和 つなげよう みんなの絆 ～

12月13日（金）、14日（土）亀山市文化会館に於いて、三重県障がい者芸術文化祭が開催されました。障がいのある方が自身の能力を發揮した作品展には、絵画172点、写真22点、書道36点、陶芸34点、手芸67点、工芸30点、貼り絵・CG53点、俳句8点、合計422点。共同作品18点、特別支援学校による展示が18校、ステージ発表が17組あり、芸術・文化活動に対しての活性化が図られました。



会場の様子

**三重県知事賞**

「座敷窓 大きく開けて 浴衣吊る」

書道  
夏空花火

陶芸  
孔雀

工芸  
スマイルコーンの四季

特別支援学校の作品

貼り絵・CG  
カラフルシール

俳句

絵画  
日本昔ばなし

写真  
笑顔で研修

手芸  
佳子さんの  
スウェーデン刺繍

**ステージ発表**

## 令和元年度 三重県障がい者青年交流事業

三重県障がい者「で愛・ふれあい交流会」を7月7日（日）～8日（月）サンペルラ志摩（志摩市磯部町）にて開催しました。

県内各地から障がい者等112名の参加があり、1日目は国立研究開発法人 水産研究・教育機構 増養殖研究所 業務推進部 業務推進課長 奥村 卓二 氏による「ウナギの種苗生産研究の背景と現状」についての講演、次に社会福祉法人 三重県共同募金会 事務局長 田畑 治 氏による「共同募金のしくみ」について講演いただきました。

2日目8日（月）は音楽療法士 桐生 小百合氏の指導

により「からだを使って音楽を楽しむ」を音楽に合わせて体を大きく使い大きな声で唄い楽しみ、交流会を閉会しました。

また、8月24日（土）に芸濃町総合文化センター（津市）に於いて、三重県障がい者「仲間と学ぶ ふれあいの集い」を開催し、県内各地から障がい者等180名の参加がありました。第36回東海テレビひまわり賞受賞者の四日市市身体障害者団体連合会 伊藤 秀清 氏より障がい者の体験発表、その後、障がい者によるカラオケの集いを行い、有意義な一日を過ごしました。

## 第65回三重県身体障害者福祉大会会長表彰

### 自立更生者

もりた 順一（伊賀市）  
森田 典子（名張市）  
きくづみ 典子（名張市）  
まつた 靖利（鈴鹿市）

### 団体育成功労者

ひらの 博（桑名市）  
ひら野 博（桑名市）  
しょうげん 正義（四日市市）  
しょうげん 正義（四日市市）  
しまとら 三男（四日市市）

まつもと 昭子（鈴鹿市）  
まつもと 昭子（鈴鹿市）  
なご 正樹（大紀町）  
なご 正樹（大紀町）  
ふくなが 正己（伊賀市）  
ふくなが 正己（伊賀市）  
ふち 申大（伊賀市）

こうの 一仁（名張市）  
かづひと 一仁（名張市）  
かづひと 一仁（名張市）  
かづひと 一仁（名張市）  
かづひと 一仁（名張市）  
かづひと 一仁（名張市）

### 奉仕活動功労者

いわなま 真智（伊賀市） 上野市車いす友の会  
ろのか 加寿子（名張市） 社会福祉法人こもはら福祉会  
ひかし 匡保（熊野市） 熊野市身障連  
にしやま たか子（熊野市） 熊野市身障連  
たけおか 英夫（松阪市） 三重県声のポスト友の会

にししかた 繁春（津市） 日赤三重県支部点訳奉仕団津点訳友の会  
にししかた 繁春（津市） 日赤三重県支部点訳奉仕団津点訳友の会  
おきたみ 三千代（鈴鹿市） 音訳グループ「鈴の音」  
いとう 典子（四日市市） 四日市録音奉仕の会  
みやま 優佳（四日市市） 四日市録音奉仕の会

## 令和元年の障害者雇用の集計結果発表

障害者雇用促進法に基づき、毎年6月1日現在の障がい者の雇用義務がある民間企業と公的機関の雇用状況が三重労働局から12月25日に発表されました。

三重県内の民間企業は、実雇用率2.26%（法定雇用率は2.2%）で全国21位（前年19位）でした。なお、法定雇用率達成企業は58.3%でした。

公的機関は、昨年障がい者雇用の水増しが問題となった、県の教育委員会が雇用率2.29%（法定雇用率2.4%）で今年も達成できませんでした。

また、市町等の機関も16機関が未達成（昨年12機関）でした。

この結果を受け、三重県障害者団体連合会として、1月28日（火）に県教育委員会に対し抗議・要請を行うとともに、三重労働局にも要請を行いました。

## 三重とこわか国体・三重とこわか大会 ボランティア募集中!

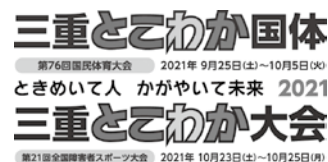
県では、両大会における開・閉会式や、三重とこわか大会の競技会などで活動するボランティアを募集しています。みんなの力で、両大会を成功させましょう。

### ● 募集ボランティア ●

- ・運営ボランティア 約3,700人  
受付・案内、会場整理、会場美化、会場サービス、式典運営補助など
- ・情報支援ボランティア 600人  
手話・筆談、要約筆記（手書き・パソコン）など
- ・移動支援ボランティア（全国初） 100人  
視覚障がい者や車いす使用者に対する介助・誘導をはじめ、観覧者一人ひとりに応じた配慮やサポートなど

それぞれのボランティアの応募要件など詳細は、両大会のホームページをご覧ください。

三重とこわか国体 三重とこわか大会



### ● 問い合わせ先 ●

〈運営ボランティア〉

三重県 地域連携部  
国体・全国障害者スポーツ大会局 総務企画課  
TEL 059-224-2908 FAX 059-224-3245

〈情報支援・移動支援ボランティア〉

三重県 地域連携部  
国体・全国障害者スポーツ大会局 全国障害者スポーツ大会課  
TEL 059-224-2766 FAX 059-224-3245

## 2020年 三重県交通安全県民運動

### ○三重県交通安全県民運動スローガン

思いやる やさしい心で 走る三重  
～ 気持ち良い 運転マナーの 美し国 ～

### 年間重点目標

- 高齢者の交通事故防止 ○子どもの交通事故防止
- 横断歩道における歩行者優先の徹底
- シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶 ○自転車の安全利用の推進
- 夕暮れ時（どき）又は天候に応じた早めのライト点灯の推進
- 反射材の普及促進

### 2020年 四季の交通安全運動等

- (ア) 春の全国交通安全運動  
4月6日（月）～4月15日（水）までの10日間
- (イ) 夏の交通安全県民運動  
7月11日（土）～7月20日（月）までの10日間

### (ウ) 秋の全国交通安全運動

9月21日（月）～9月30日（水）までの10日間

### (エ) 年末の交通安全県民運動

12月1日（火）～12月10日（木）までの10日間

### (オ) 夕暮れ時（どき）、ちょっと早めのライト・オン運動

10月1日（木）～12月31日（木）までの3ヶ月間

### 日を定めて行う運動

- ア 交通事故死ゼロを目指す日  
（全国交通安全運動期間中に実施予定）
- イ 交通安全の日、横断歩道“SOS”の日 毎月11日
- ウ 高齢者の交通安全の日（セーフティー・シルバー・デー【S・Sデー】）毎月15日
- エ 自転車安全対策強化日（セーフティー・バイシクル・デー【S・Bデー】）毎月第1月曜日
- オ 三重県飲酒運転0（ゼロ）をめざす推進運動の日  
毎年12月1日

# 受賞おめでとうございます

## ◆第37回東海テレビひまわり賞

まつ だ やす とし  
松 田 靖 利 (三重県脊髄損傷者協会) 鈴鹿市

22歳の時に交通事故で脊髄損傷し、両下肢麻痺になりました。収入がなくなり、同じ脊髄損傷の患者から脊髄損傷でも社会に出て生きる希望をもらい、障がい者職業訓練校で勉強し、設計事務所に就職。

その後、車いす販売・修理の仕事で独立。車を自ら運転して、県内外に車いすの販売をしている。同じ障がいになった方に車いすを提案する仕事はやりがいがあり、また、自身の仕事を見てもらい、車いすでも仕事が出来ると自信や目標を持ってもらえるように努めている。

現在は業務を拡張し、住宅型有料老人ホームとデイサービスセンターの運営をしている。

また、全国脊髄損傷者連合会三重支部、三重県脊髄損傷者協会として、当事者の立場を生かした活動をしている。

## ◆三重県医療保健及び子ども・福祉関係功労表彰

### ○福祉事業従事者功労 (知事表彰)

た なか さと こ  
田 中 聡 子

(社会福祉法人敬愛会 障害者支援施設長谷山寮 生活支援員)

ひら いわ もと や  
平 岩 基 也

(社会福祉法人敬愛会 障害者支援施設長谷山寮 生活支援員)

ふじ た まさ よ  
藤 田 雅 代

(社会福祉法人敬愛会 障害者支援施設長谷山寮 生活支援係主任)

### ○福祉団体指導者功労 (知事表彰)

し みず けい じ  
清 水 系 慈 (名張市身体障害者互助会 事務局長)

### ○ボランティア功労 (知事表彰)

おおやまくち ひろ こ  
大 山 口 博 子

楽譜の点訳に取り組みながら楽譜点訳指導者として講習会、後継者育成に尽力して、県内外で活躍している。他にも語学テキスト、資格取得のためのテキスト、学校の教科の補助教材等を点訳している。

## ◆ボランティア功労者厚生労働大臣表彰

ば ば さい こ  
馬 場 幸 子

点字絵本や手打ちの点訳本の作成指導と校正を行い、全国の盲学校等へ寄贈するなど、点訳・点字絵本の普及に尽力しました。自身も日本赤十字社三重県支部点訳奉仕団の一員として点字絵本の製作を行ってきており、退職後は「点字絵本サークル」を立ち上げ、代表、指導者として活動しています。また、津市の観光パンフレット(点字版)の作成、寄贈等も行っています。

## ◆社会福祉功労者厚生労働大臣表彰

さん せ まさ ゆき  
三 瀬 正 幸 四日市市

社会福祉法人青山里会 障害者支援施設 小山田苑 施設長

かわ ぐち じゅん こ  
川 口 純 子 伊賀市

社会福祉法人伊賀市社会事業協会 盲養護老人ホーム梨ノ木園 調理員

## ◆第39回全国障害者技能競技大会(アビリンピック)

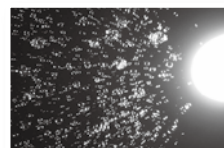
くろ だ あき ふみ  
黒 田 朗 史 電子機器組立 金賞

## ◆第34回「障害者による書道・写真全国コンテスト」

写真部門 フリーの部

銅賞

い どう もと やす  
伊 藤 元 泰 菰野町



写真「海」

## ◆生涯スポーツ功労者及び

### 生涯スポーツ優良団体の文部科学大臣表彰

#### ○生涯スポーツ優良団体 (スポーツクラブ)

電動車椅子サッカークラブ MAX (代表者 小倉 健)

主催事業として体験教室を毎年開催し、競技の普及や選手発掘等の取組に尽力。また、重度障がい等のため活動に制約がある中でも、日常練習を継続的に行うとともにその回数を増やしており、電動車椅子サッカーを通じた地域における障がい者スポーツの普及発展に寄与。

## ◆第47回 三重県スポーツ賞

#### ○三重県スポーツ特別功労賞

い どう とも や  
伊 藤 智 也 陸上競技

伊藤選手はインドネシア2018アジアパラ競技大会 陸上競技 男子200m T21/T52クラスで優勝しました。

まえ がわ かえて  
前 川 楓 陸上競技

前川選手はインドネシア2018アジアパラ競技大会 陸上競技 女子100m T42/T63クラスで2位になりました。

ほそ かわ ひろ し  
細 川 宏 史 水泳(競泳)

細川選手はインドネシア2018アジアパラ競技大会 水泳競技 男子100m自由形・400m自由形S7クラスに出場し、県民に明るく元気な話題を提供しました。

#### ○三重県スポーツ優秀賞

い たに しゅん すけ  
井 谷 俊 介 陸上競技

井谷選手はインドネシア2018アジアパラ競技大会 陸上競技 男子100m T44/T62/T64クラスで優勝しました。

おん だ りゅう じ  
恩 田 竜 二 車いすフェンシング

恩田選手はインドネシア2018アジアパラ競技大会 車いすフェンシング競技 男子サーブル(カテゴリーB)で2位になりました。

## ◆三重県地域スポーツ推進表彰

#### ○地域スポーツ推進優良団体 (スポーツクラブ)

三重県知的障がい者ソフトボールチーム

## ◆第2回世界デフテニス選手権大会

こも かた り な  
菰 方 里 菜 女子ダブルス 優勝